第13回全国和牛能力共進会
北海道大会開催内容

「第13回全国和牛能力共進会北海道大会基本計画(案)」(令和6年5月 第13回全共北海道実行委員会)より

大会名称｜第13回全国和牛能力共進会北海道大会
主　　催｜公益社団法人　全国和牛登録協会
運営主体｜第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会
開催期間｜5日間(令和9年8月26日㊍～8月30日㊊)
出品頭数｜[種牛の部]・[高校及び農業大学校の部]:約320頭、[肉牛の部]:約200頭
予想来場者数｜約38万人
開催場所
種牛の部会場
共進会場エリア｜河東郡音更町字音更西「旧・ホクレン十勝地区家畜市場」
催事会場エリア｜河東郡音更町希望が丘「希望が丘運動公園」、「家畜集出荷センター」
肉牛の部会場
審査・展示会場｜帯広市西24条「(株)北海道畜産公社十勝工場」
セリ会場およびセリ参観会場｜帯広市大通北「帯広市総合体育館 よつ葉アリーナ十勝」

「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集め改良の成果を競う場として5年に一度開催される「和牛の祭典」で、牛の姿・形を審査する「種牛の部」と、肉質等を審査する「肉牛の部」があり、9つの出品区分に各県代表牛約500頭が出品され「全国一」の座を目指します。催事会場には全国銘柄牛試食コーナーやBBQコーナー、開催地の農畜産物・名産品の販売・飲食コーナーなどがあり、過去大会では5日間で30～40万人が来場し、経済波及効果は約100億円と試算されるなど、一大イベントとなっています。

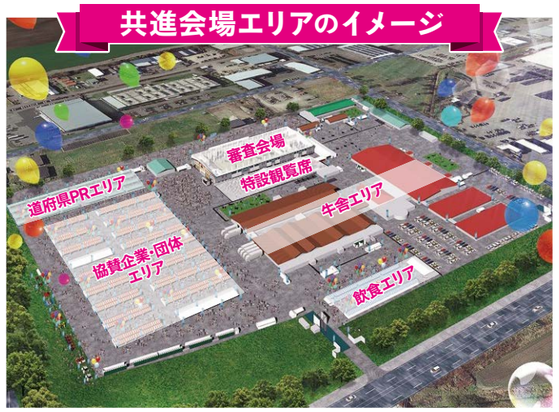
なお、北海道では初めての開催で、多くの来場される皆様に北海道ならではの豊かな食や多彩な観光資源、独自の文化などを楽しんでいただけるよう、関係者が一丸となり"オール北海道"で準備を進め、おもてなしの心でお迎えする大会にしたいと考えています。

種牛の部 審査会場
(十勝農協連アグリアリーナ)

肉牛の部 審査会場
(北海道畜産公社十勝工場)

肉牛の部 セリ・参観会場
(よつ葉アリーナ十勝)

共進会場エリアのイメージ



催事会場エリアのイメージ

第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会(事務局:一般社団法人北海道酪農畜産協会)
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13階　TEL:011-209-8553【全共推進室】

(実行委員会の構成)北海道／JA北海道中央会／ホクレン／音更町／帯広市／上川生産連／日高生産連／十勝農協連／釧路農協連／根室生産連／道総研／道農業公社／ジェネティクス北海道／道畜産物価格安定基金協会／道和牛振興協議会／道酪農畜産協会／JA北海道信連／JA北海道厚生連／JA共済連北海道／NOSAI北海道／道獣医師会／道家畜人工授精師協会／道家畜畜産物衛生指導協会／道畜産公社／道配合飼料価格安定基金協会／道家畜商業協同組合連合会／十勝家畜人工授精所／家畜改良事業団十勝種雄牛センター／道食肉事業協同組合連合会／チクレン／全国肉牛事業協同組合道ブロック／道肉用牛生産者協議会／十勝地区農業協同組合長会

詳しくはこちら≫ URL：https://zenkyo-hokkaido.jp　全共 北海道　検索

第13回 全国和牛能力共進会 北海道大会

種牛の部 音更町[旧・ホクレン十勝地区家畜市場]　**肉牛の部** 帯広市[北海道畜産公社十勝工場]

令和9年8月26日㊍～30日㊊開催

PROMOTION	ATTRACTION	TRADITION	RECEPTION
プロモーション	アトラクション	トラディション	レセプション
振興	魅力	伝承	おもてなし

第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会

北海道各地の和牛生産

梅雨がなく、四季を通じて湿度の少なさと適度な気温を保つ北海道。この自然豊かで広大な土地を持つ北海道では、栄養豊富な良質の牧草を作ることが出来るため、肉牛を飼育するのにぴったりです。

このような北海道では、肥育や繁殖の素牛となる子牛や、ブランド牛肉となる肥育牛が各地で生産されています。

凡例

- 高速道路
- 北海道開発局管理区間（無料）
- 国道
- 鉄道
- 空港
- 港湾
- ニセコ積丹小樽海岸国定公園　国立公園・国定公園

家畜市場位置図［肉専用種、農水省調べ］

01：ホクレン南北海道家畜市場
　北海道ホルスタイン家畜市場
02：十勝中央家畜市場
03：ホクレン十勝地区家畜市場
04：ホクレン釧路地区家畜市場
05：根室集散地家畜市場
06：ホクレン根室地区家畜市場
07：北見集散地家畜市場
08：ホクレン北見地区総合家畜市場
09：紋別集散地家畜市場
10：ホクレン豊富地域家畜市場
11：道北名寄集散地家畜市場
12：ホクレン北海道中央地域家畜市場

札幌からの所要時間（自動車）

千歳空港	約57.5km ／ 約50分
函館	約316km ／ 約4時間
旭川	約140km ／ 約2時間
帯広	約202km ／ 約3時間
稚内	約328km ／ 約5時間
釧路	約307km ／ 約4時間
北見	約305km ／ 約4時間

※高速道路を使用した経路での数値

北海道の認定和牛改良組合

R6.4.1現在 57組合

後志管内の和牛生産頭数 656頭
認定和牛改良組合
■ようてい

北海道の和牛生産頭数 78,771頭
（R4 子牛登記頭数）

利尻礼文サロベツ国立公園
利尻山が生み出す多彩な景観、花咲き誇る最北の公園

留萌管内の和牛生産頭数 3,314頭
認定和牛改良組合
■小平町

空知管内の和牛生産頭数 1,964頭
認定和牛改良組合
■ピンネ　■きたそらち

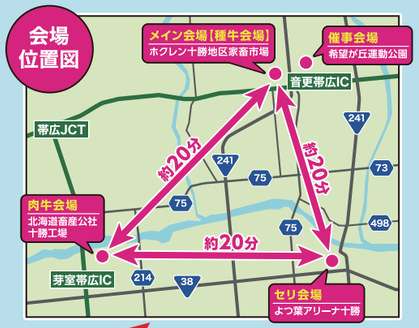
石狩管内の和牛生産頭数 902頭
認定和牛改良組合
■浜益　■江別　■石狩当別

宗谷管内の和牛生産頭数 1,195頭
認定和牛改良組合
■豊富町

上川管内の和牛生産頭数 4,067頭
認定和牛改良組合
■旭川市　■ふらの

オホーツク管内の和牛生産頭数 8,083頭
認定和牛改良組合
■女満別町　■美幌町　■滝上町
■オホーツクあばしり　■清里町

大雪山国立公園
北海道の真ん中に広がる大屋根
―カムイミンタラ 神々の遊ぶ庭―



主要都市から会場までの所要時間

札幌駅 / 新千歳空港駅 → JR北海道・特急 約2時間40分（最短）/ 約2時間10分（最短）→ 帯広駅 → シャトルバス 約30分 → 催事会場エリア（希望が丘運動公園）

東京（羽田）→ 空港連絡バス 約40分 → 帯広駅

東京（羽田）→ 約1時間30分（最短）→ とかち帯広空港 → 車 約30分 → 一般用駐車場

大阪（伊丹）→ 羽田経由 約3時間20分（最短）→ とかち帯広空港

福岡（福岡）→ 羽田経由 約4時間10分（最短）→ とかち帯広空港

東京（羽田）→ 約1時間30分（最短）→ 新千歳空港 → 車 約2時間20分 → 一般用駐車場

大阪（伊丹）→ 約1時間45分（最短）→ 新千歳空港

福岡（福岡）→ 約2時間10分（最短）→ 新千歳空港

東京（羽田）→ 約1時間30分（最短）→ 釧路空港 → 車 約1時間40分 → 一般用駐車場

一般用駐車場 → シャトルバス 約30分 → 催事会場エリア（希望が丘運動公園）

催事会場エリア（希望が丘運動公園）→ シャトルバス 約5分 → 共進会場エリア（ホクレン十勝地区家畜市場）

知床国立公園
流氷がつなぐ豊かな生態系、火山が生んだ山々と海岸断崖が織りなす雄大な景観

阿寒摩周国立公園
日本最大のカルデラ地形、火山・森・湖が織りなす広大な景観

釧路湿原国立公園
日本最大の湿原と壮大な蛇行河川、それを育む森

日高山脈襟裳十勝国立公園
北海道の背骨といわれる山脈

支笏洞爺国立公園
生きている火山と静まる蒼い湖
―火山活動の博物館―

胆振管内の和牛生産頭数 10,613頭
認定和牛改良組合
■白老　■厚真町　■とうや湖
■安平町　■鵡川　■穂別
■伊達市

渡島・桧山管内の和牛生産頭数 2,835頭
認定和牛改良組合
■今金町　■せたな町　■長万部町　■七飯町

日高管内の和牛生産頭数 7,153頭
認定和牛改良組合
■ひらとり　■みついし　■新冠町
■日高町　■新ひだか町静内
■浦河町　■えりも町

十勝管内の和牛生産頭数 26,606頭
認定和牛改良組合
■音更町　■大樹町　■幕別町
■足寄町　■豊頃町　■上士幌町
■池田町　■本別町　■とかち帯広
■浦幌町　■忠類　■更別
■陸別町　■広尾町　■新得町
■士幌町

根室管内の和牛生産頭数 6,224頭
認定和牛改良組合
■中標津町　■道東あさひ　■計根別

釧路管内の和牛生産頭数 5,159頭
認定和牛改良組合
■標茶町　■阿寒　■釧路丹頂
■摩周　■浜中町

※国立公園についての出典：環境省ホームページ（https://www.env.go.jp/park/index.html）を編集して記載